

一般質問



道の安全、学童保育所、防災の課題について



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

県道交差点「下田南」の安全について

問 事故が多く、7月・8月も立て続けに事故がありました。対策を打つ必要があると考えますが見解を伺います。

答 今回の事故に関する情報を滋賀県と共有し、現地の状況や事故の発生状況等を改めて確認し、県に対し、安全対策について早期に具体策を講じてもらうよう要望します。

学童保育所について

問 学童の見込み人数と実際の申込み数、住宅開発等で子どもの数が増える想定される地域の今後の対策は。また指導員(運営側)の負担となっている課題の改善策は。

答 今年度は見込みを38人上回り、6人の待機児童がいます。今後は適切に保育ニーズを把握し、受け皿整備も検討してまいります。

防災について

問 庁舎を一時避難所として開放すると想定されていますが、その対応で災害対策本部の機能が十分に発揮できない、と過去の教訓では言われています。庁舎を一時避難所にするのはどうかと思いますが見解をお尋ねします。

答 一時的・緊急的な待避所を想定し、防火シャッターで執務スペースと完全に分離できる構造になっています。

問 新庁舎の場所が浸水想定区域になっている点について

答 庁舎を50cm嵩上げ対策しています。

問 全国各地で想定以上の豪雨災害が起きていますが、緊急車輛となる公用車が出動不能になる場合の対策は。

答 今後、検討してまいります。



次世代を担う子ども達に負の遺産を残さない



会派 Kiku ● 永田 誠治 議員

増え続ける空き地空き家について

問 宅地開発は人口減少の今空き家が増え、管理不全空き家は将来の特定空き家、次世代の負担にならないか。

答 市はこれを放置せず都市計画マスタープランに基づく「コンパクト・プラス・ネットワーク」の構築と整合を図りインフラ維持管理費用の負担を次世代に残さないまちづくりを推進します。

上下水道の維持管理について

問 老朽化する上下水道管は増え続け更新や突発的な事故処理など維持管理が厳しい状況予測、市の打開策は。

答 経営原資は、ヒト、モノ、カネ、人材・財源不足が想定され一方で施設の老朽化が進む状況と、事故に伴う緊急修繕や更新事業は限

られたカネとヒトを重要度や老朽度、耐震性など優先順位を位置付け施設の統廃合やダウンサイジングの観点と将来に向け持続的な経営が不可欠と考えます。

保育士の確保難について

問 保育を担う職員が何故少ないのか。

答 保育士の離職理由は、給与、仕事量、労働時間の問題と保育士に課せられる労務負担の増大が要因です。

待機児童について

問 閉園や受け入れ枠の縮小などで待機児童問題は発生しないか。

答 少子化で幼稚園・保育園・こども園の利用児童数は減少傾向にあり、施設の閉園や保育士不足で受け入れ枠の減少、大規模な宅地開発で子育て世帯の流入で待機児童の発生も考えられます。